

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 10 月 27 日(2023.10.27)

【公開番号】特開 2022-161707(P2022-161707A)  
【公開日】令和 4 年 10 月 21 日(2022.10.21)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-194  
【出願番号】特願 2021-66721(P2021-66721)  
【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30(2006.01)

10

H 0 1 L 29/786(2006.01)

G 0 9 F 9/302(2006.01)

G 0 2 F 1/1368(2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 4 9 C

H 0 1 L 29/78 6 2 6 Z

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 4 8 A

G 0 9 F 9/30 3 4 9 Z

G 0 9 F 9/302 C

20

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 10 月 19 日(2023.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

第 1 基板と、

前記第 1 基板に設けられた少なくとも 1 つの画素と、

前記第 1 基板に設けられた第 1 遮光層と、

第 2 基板と、

前記第 2 基板に設けられた第 2 遮光層と、

を有し、

前記第 1 遮光層は、第 1 方向に延伸し、

前記第 2 遮光層は、前記第 1 方向と交差する第 2 方向に延伸し、

前記少なくとも 1 つの画素は、前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層とにより開口部が画定  
される、

40

ことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記第 1 基板は、前記第 1 方向に延伸する走査信号線を含み、

前記第 1 遮光層が前記走査信号線と重なり、

前記第 1 遮光層の幅が前記走査信号線の幅よりも広い、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記第 1 遮光層と前記走査信号線との間に少なくとも 1 層の絶縁層を有し、

前記第 1 遮光層が前記走査信号線より前記第 1 基板側に設けられている、

50

請求項 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記第 1 基板は、前記第 2 方向に延伸するデータ信号線を含み、

前記データ信号線が前記第 2 遮光層と重なる、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記第 1 基板は、前記第 1 方向に延伸する走査信号線、及び前記第 2 方向に延伸するデータ信号線を含み、

前記第 1 遮光層が前記走査信号線と重なり、前記第 1 遮光層の幅が前記走査信号線の幅よりも広く、

前記第 2 遮光層が、前記走査信号線及び前記データ信号線、並びに前記第 1 遮光層と重なり、

前記第 2 遮光層の前記走査信号線と重なる領域の幅が、前記第 1 遮光層の幅よりも狭い、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの画素が複数の画素からなり、

前記複数の画素が、前記第 1 方向に配列された第 1 画素、第 2 画素、及び第 3 画素を含み、

前記第 1 画素、前記第 2 画素、及び前記第 3 画素のそれぞれの開口率が異なるように、

前記第 1 遮光層の幅が前記第 1 方向に沿って異なっている、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記第 1 画素が青色に対応する画素であり、前記第 2 画素が緑色に対応する画素であり、前記第 3 画素が赤色に対応する画素であり、

前記第 1 遮光層は、前記第 3 画素に対応する領域の幅が、前記第 1 画素及び前記第 2 画素に対応する領域の幅よりも狭い、

請求項 6 に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記第 1 基板と第 2 基板との間にスペーサを有し、

前記第 1 遮光層が前記スペーサと重なる領域を遮光する遮光パターンを含む、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記スペーサは、平面視で前記第 1 遮光層と完全に重なりと共に、前記スペーサの第 1 の部分は、平面視において、前記第 2 遮光層と重なり、前記スペーサの第 1 の部分以外の第 2 の部分は、前記第 2 遮光層から露出している、

請求項 8 に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記第 1 遮光層が金属膜であり、前記第 2 遮光層が樹脂膜である、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 11】

前記第 1 遮光層が、少なくとも 2 層の金属層を含み、

前記 2 層の金属層において、上層の金属層の幅が下層の金属層の幅より広い、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 12】

前記第 1 方向に延伸する複数の走査信号線と、前記第 2 方向に延伸する複数のデータ信号線と、を備え、

前記複数の走査信号線及び前記複数のデータ信号線は、断面視において、前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層との間に設けられている、

請求項 1 に記載の表示装置。

10

20

30

40

50

## 【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの画素は半導体層を含み、  
前記半導体層は、断面視において、前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層との間に設けられている、  
請求項 1 に記載の表示装置。

## 【請求項 14】

前記半導体層は、前記第 1 遮光層と交差する、  
請求項 13 に記載の表示装置。

## 【請求項 15】

前記半導体層は、一方の端部が前記第 2 遮光層と重なる、  
請求項 13 に記載の表示装置。 10

## 【請求項 16】

断面視において、前記第 1 遮光層と前記第 2 遮光層との間の液晶層を含む、  
請求項 12 に記載の表示装置。

## 【請求項 17】

第 1 基板と、  
前記第 1 基板に設けられた少なくとも 1 つの画素と、  
前記第 1 基板に設けられた第 1 遮光層と、  
前記第 1 基板に設けられたデータ信号線と、  
前記第 1 基板に設けられ、前記データ信号線と重なる共通補助電極と、  
第 2 基板と、  
前記第 2 基板に設けられた第 2 遮光層と、  
を有し、  
前記第 1 遮光層は、第 1 方向に延伸し、  
前記第 2 遮光層と前記データ信号線とは、前記第 1 方向と交差する第 2 方向に延伸し、  
前記少なくとも 1 つの画素は、前記第 1 遮光層と前記共通補助電極とにより開口部が画  
定される、  
ことを特徴とする表示装置。 20

## 【請求項 18】

前記第 1 基板は、前記第 1 方向に延伸する走査信号線を含み、  
前記第 1 遮光層が前記走査信号線と重なり、  
前記第 1 遮光層の幅が前記走査信号線の幅よりも広い、  
請求項 17 に記載の表示装置。 30

## 【請求項 19】

前記第 1 遮光層と前記走査信号線との間に少なくとも 1 層の絶縁層を有し、  
前記第 1 遮光層が前記走査信号線より前記第 1 基板側に設けられている、  
請求項 18 に記載の表示装置。

## 【請求項 20】

前記第 1 基板は、前記第 2 方向に延伸するデータ信号線を含み、  
前記データ信号線が前記第 2 遮光層と重なる、  
請求項 17 に記載の表示装置。 40